

2014.11.26

2014.11.28 BRICs+豪加筆修正



今月の経済・金融情勢

～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2014年11月

農林中金総合研究所

調査第二部

<http://www.nochuri.co.jp/publication/situation/index.html>

- 米 国**
- 10月28～29日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、債券買入額(当初850億ドル)を10月末をもってゼロとし、12年9月に開始した量的緩和策第3弾(QE3)を終了することが決まった。また、政策金利(0～0.25%)については今後も「相当な期間」維持するとの方針を改めて示したほか、今後発表される経済指標の動向次第によって利上げ時期の前倒し、あるいは先送りを決定するとの方針も示した。
 - 米国の経済指標をみると、雇用統計(10月)の失業率は5.8%と前月から0.1ポイント改善したほか、非農業部門雇用者数も20.9万人増と9ヶ月連続での20万人超の増加となり、雇用回復の底堅さが示された。ただし、同雇用者数の増加幅は事前予測(21.4万人)を下回ったため、早期利上げ観測は後退した。
- 日 本**
- 10月31日の日銀金融政策決定会合では、15年度を中心とする期間内に2%の「物価安定の目標」を実現することを目指す量的・質的金融緩和の拡大を発表した。具体的な内容は、マネタリーベースが年間80兆円(従来は約60～70兆円)に相当するペースで増加するように、①長期国債の保有残高が年間約80兆円(従来は約50兆円)に相当するペースで増加するよう買入れを行うほか、平均残存期間を7～10年程度(従来は7年程度)へ延長する、②ETFの保有残高を年間約3兆円(従来は約1兆円)、J-REITのそれを約900億円(従来は約300億円)に引き上げ、新たにJPX日経400連動ETFを買入れ対象に加える、③CP等(約2.2兆円)・社債等(約3.2兆円)の残高を維持する、といったものである。また、11月19～20日の会合でも同政策の継続が決定した。
 - 日本の経済指標をみると、7～9月期の実質GDP成長率(一次速報値)は、前期比▲0.4%(年率▲1.6%)と大方の予想に反して2四半期連続のマイナスとなった。また、機械受注(船舶・電力を除く民需)の9月分は、前月比2.9%と4ヶ月連続の増加となったものの、10～12月期の見通しでは前期比▲0.3%と減少が見込まれている。さらに、9月の鉱工業生産指数(確報値)は、前月比2.9%と2ヶ月ぶりに上昇したものの、製造工業生産予測調査をみると、10月は同▲0.1%に低下すると見込まれている。以上のように、消費税増税後の日本経済の足取りは鈍く、政府は15年10月に予定していた消費税増税の先送りを決定した。
- 金融市場**
- 長期金利(新発10年国債利回り)は、10月末に日銀が想定外の量的・質的金融緩和に踏み切ったことから、一時0.435%と同政策が導入された直後の水準まで低下した。その後は一旦水準を戻したが、流動性リスクが意識されるなか、値動きの荒い展開となっている。
 - 日経平均株価は、10月中旬には、世界経済の減速懸念を受けて14,500円台まで下落したが、日銀が量的・質的金融緩和でリスク性資産の買入れ額を増額したほか、GPIFの運用比率の見直しもあって上昇に転じ、11月中旬には約7年ぶりに17,000円台を回復している。
 - ドル円相場は、10月中旬には、米国経済の先行きに対する懸念が高まったことなどから、一時106円前後まで円高・ドル安となった。しかし、その後は米国がQE3を終了した一方で、日本では量的・質的金融緩和の導入を決めるなど、政策の方向性の違いが鮮明となったことで、円安・ドル高が進行。11月中旬には一時1ドル＝118円台となった。

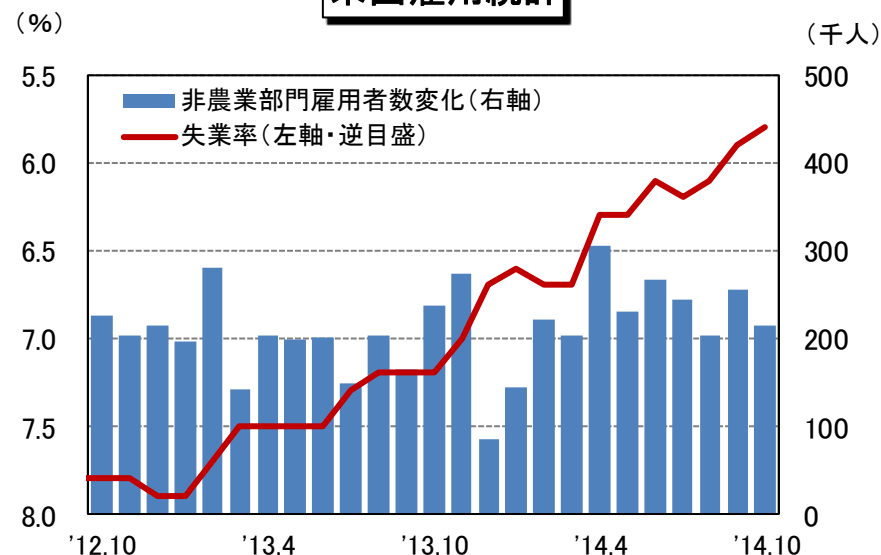
米国経済：QE3は終了、雇用の回復は継続

イールドスプレッドとFFレート誘導目標
(政策金利)の関係



(資料) Bloombergより作成

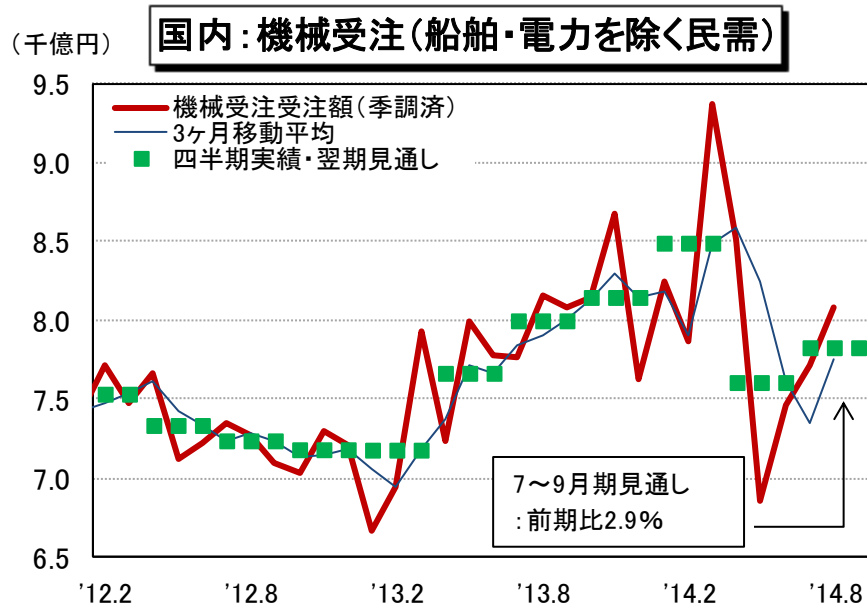
米国雇用統計



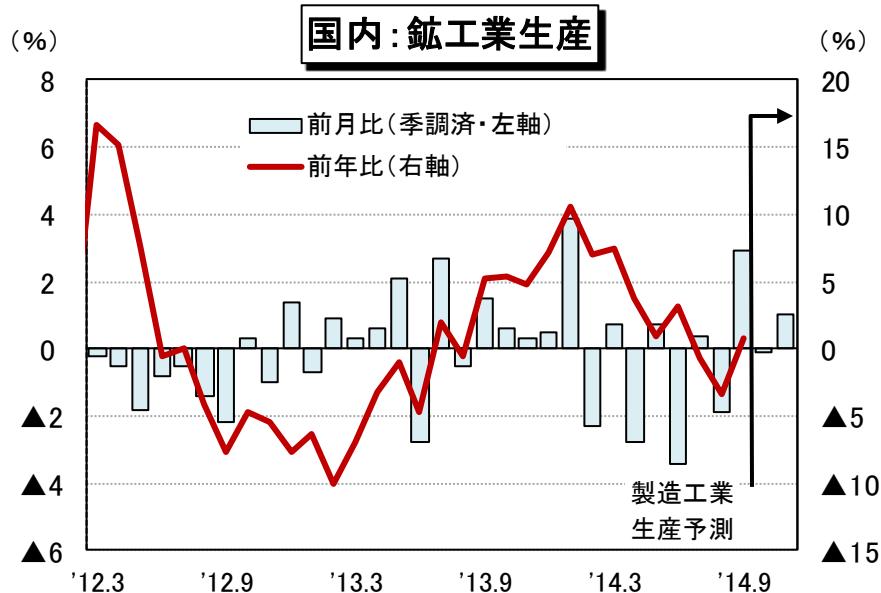
(資料) Bloombergより作成

- **米国金融政策**: 10月28～29日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、債券買入額(当初850億ドル)を10月末をもってゼロとし、12年9月に開始した量的緩和策第3弾(QE3)を終了することが決まった。また、政策金利(0～0.25%)については今後も「相当な期間」維持するとの方針を改めて示したほか、今後発表される経済指標の動向次第によって利上げ時期の前倒し、あるいは先送りを決定するとの方針も示した。
- **米国経済**: 雇用統計(10月)の失業率は5.8%と前月から0.1ポイント改善したほか、非農業部門雇用者数も20.9万人増と9ヶ月連続での20万人超の増加となった。ただし、同雇用者数の増加幅は事前予測(21.4万人:ブルームバーグ集計)を下回ったため、早期利上げ観測は後退した。

国内経済：足取りの鈍さが目立つ



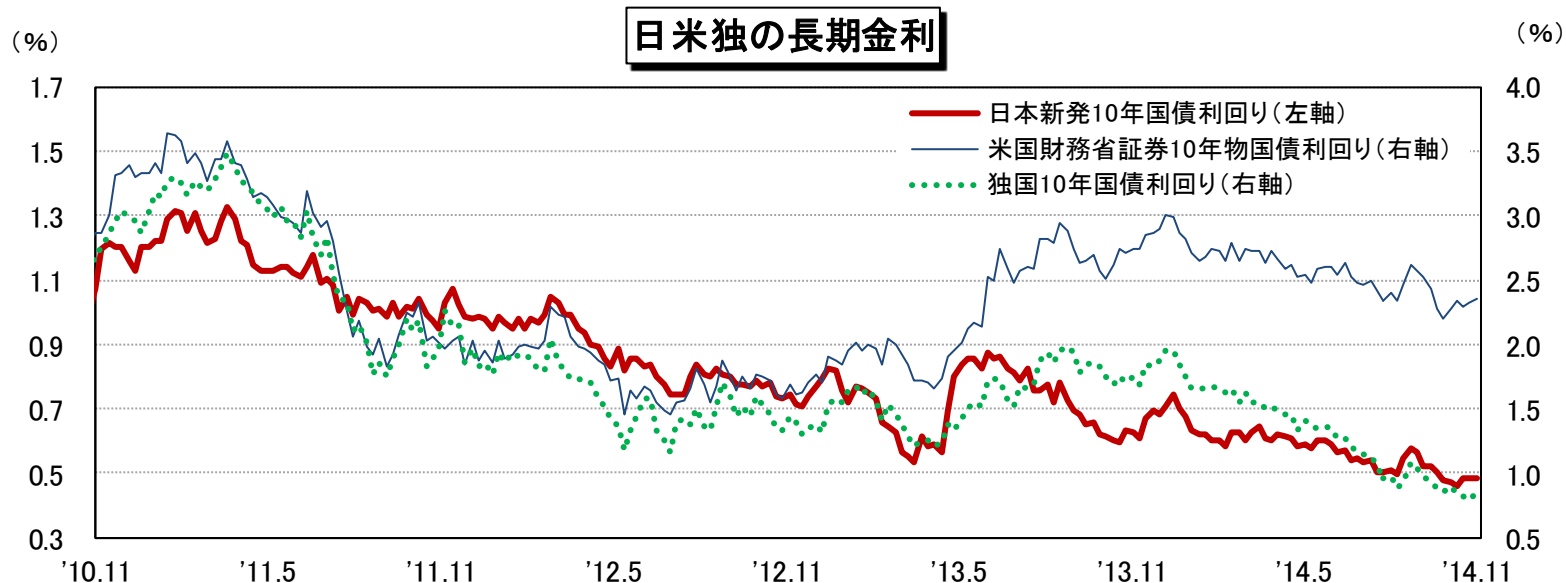
(資料) Bloomberg(内閣府「機械受注統計」)より作成



(資料) Bloomberg(経済産業省「鉱工業生産」)より作成

- **国内総生産(GDP)**: 7~9月期の実質GDP成長率(一次速報値)は、前期比▲0.4%(年率▲1.6%)と大方の予想に反して2四半期連続のマイナスとなった。これによって消費税増税後の日本経済の足取りの鈍さが明らかになったことから、政府は15年10月の消費税再増税の先送りを決定した。
- **機械受注**: 民間設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除く民需)の9月分は、前月比2.9%と4ヶ月連続の増加となった。ただし、10~12月期の見通しでは前期比▲0.3%と減少が見込まれている。
- **鉱工業生産**: 9月の鉱工業生産指数(確報値)は、前月比2.9%と2ヶ月ぶりに上昇した。製造工業生産予測調査をみると、10月は同▲0.1%に低下するものの、11月には同1.0%に上昇すると見込まれている。

長期金利：量的・質的金融緩和拡大の影響で低下



(資料) Bloombergより作成

- **日銀金融政策**: 10月31日の日銀金融政策決定会合では、15年度を中心とする期間内に2%の「物価安定の目標」を実現することを目指す量的・質的金融緩和の拡大を発表した。具体的な内容は、マネタリーベースが年間80兆円(従来は約60~70兆円)に相当するペースで増加するように、①長期国債の保有残高が年間約80兆円(従来は約50兆円)に相当するペースで増加するよう買入れを行うほか、平均残存期間を7~10年程度(従来は7年程度)へ延長する、②ETFの保有残高を年間約3兆円(従来は約1兆円)、J-REITのそれを約900億円(従来は約300億円)に引き上げ、新たにJPX日経400連動ETFを買入れ対象に加える、③CP等(約2.2兆円)、社債等(約3.2兆円)の残高を維持する、といったものである。また、11月19~20日の会合でも同政策の継続が決定した。
- **長期金利(新発10年国債利回り)**: 10月末に日銀が市場想定外の量的・質的金融緩和拡大に踏み切ったことから、一時0.435%と、同政策が導入された直後の水準まで低下した。その後は一旦水準を戻したが、流動性リスクが意識されるなか、値動きの荒い展開となっている。

株価：7年ぶりの水準まで上昇



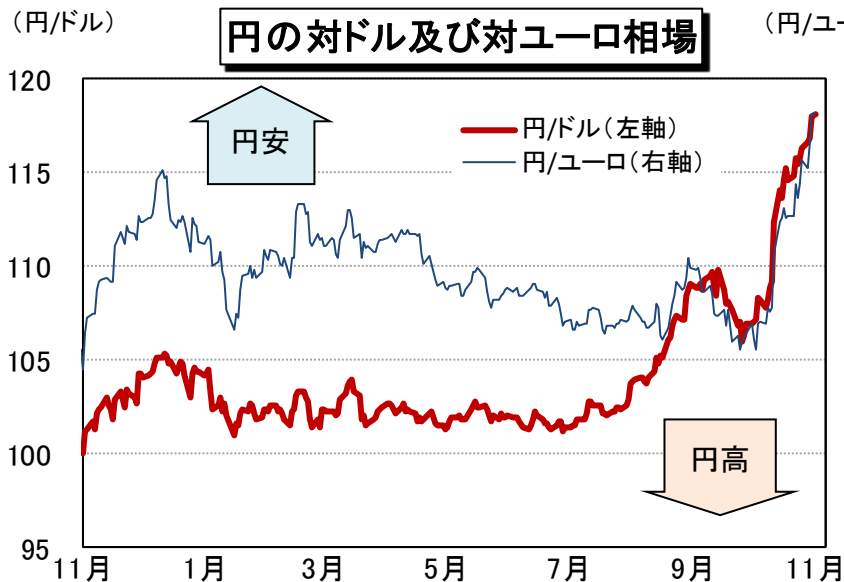
(資料) Bloombergより作成



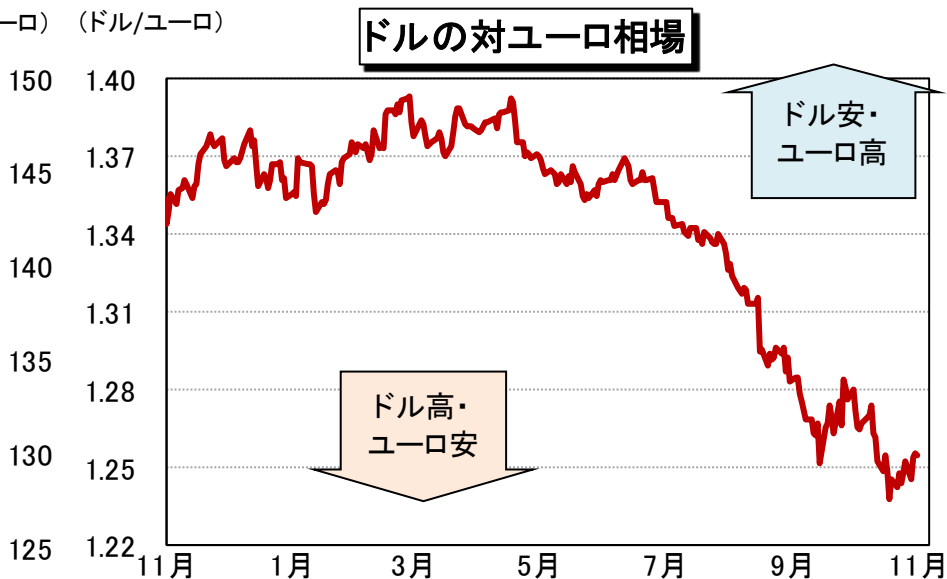
(資料) Bloombergより作成

- **日本株価(日経平均)**: 10月中旬には、世界経済の減速懸念を受けて14,500円台まで下落したが、日銀が量的・質的金融緩和でリスク性資産の買入れ額を増額したほか、GPIFの運用比率の見直しもあって上昇に転じ、11月中旬には約7年ぶりに17,000円台を回復している。
- **米国株価(NYダウ平均)**: 11月上旬には雇用統計(10月)で雇用回復の底堅さが確認された一方、事前予測ほどの回復には至らなかったことで政策金利が当面維持されるとの見方も広がったこともあって上昇傾向での推移となり、11月中旬には17,500ドル台を突破している。

為替：1ドル＝120円台に迫る水準まで円安に



(資料) Bloombergより作成



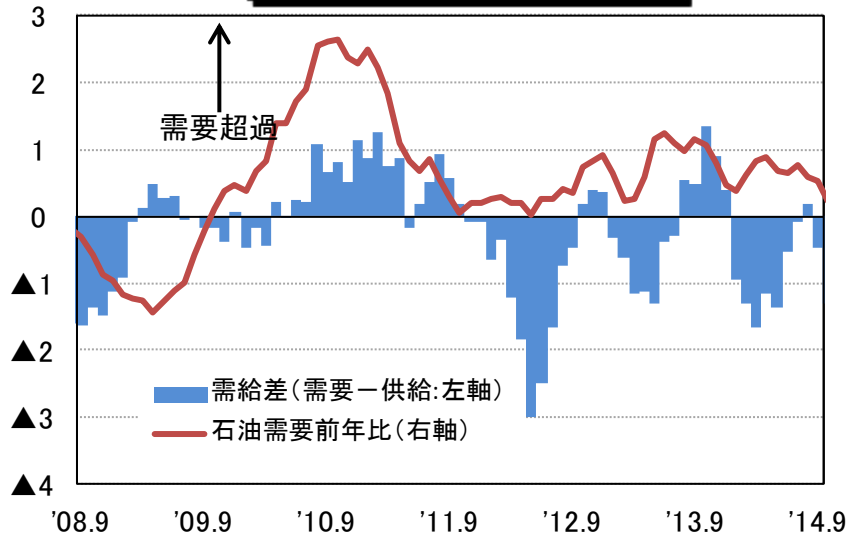
(資料) Bloombergより作成

- **ドル円相場**: 10月中旬には、米国経済の先行きに対する懸念が高まったことなどから、一時106円前後まで円高・ドル安となった。しかし、その後は米国がQE3を終了した一方で、日本では量的・質的金融緩和の導入を決めるなど、政策の方向性の違いが鮮明となったことで、円安・ドル高が進行。11月中旬には一時1ドル＝118円台となった。
- **ユーロ円相場**: 円安・ドル高につられる形で円安・ユーロ高が進行し、11月中旬には1ユーロ＝147円台半ばとなっている。ただし、ユーロ圏経済の景気後退懸念やデysinフレ懸念も根強く、一方的なユーロ高にはなっていない。

原油：下落が続く

(百万バレル)

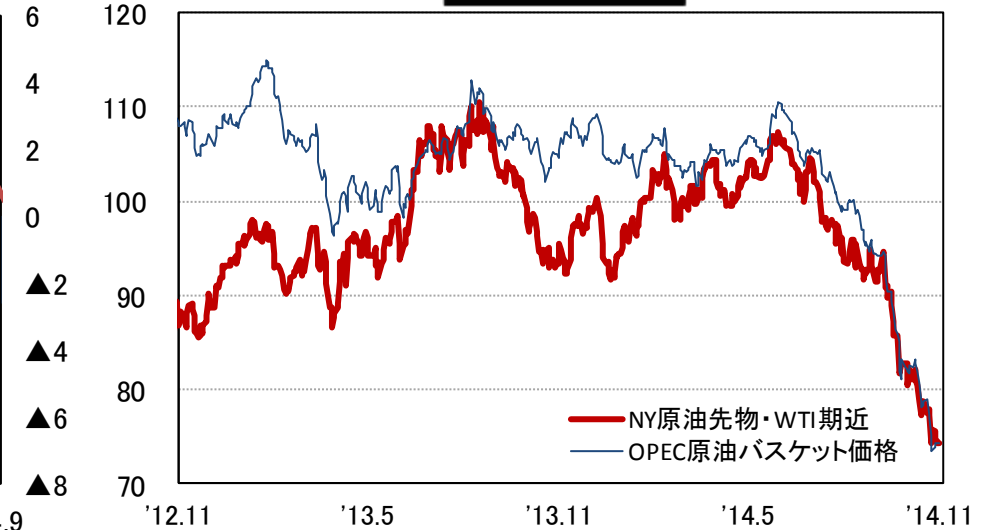
石油需給(3ヶ月移動平均)



(資料) Bloomberg より作成

(%) (ドル/バレル)

国際原油市況



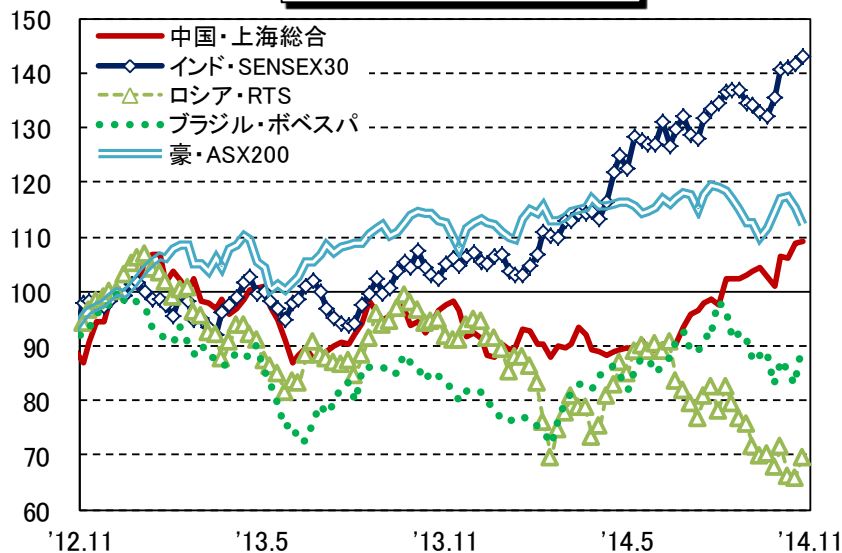
(資料) Bloomberg より作成

- **原油先物(ニューヨーク市場・WTI期近)**: 10月上旬のIMFによる世界経済成長見通し引き下げによって先行きの原油需要が抑制されるとの見方が広がったほか、ドル高の進行や北米でのシェールガス・オイルの増産もあって下落傾向で推移し、11月中旬には1バレル=75ドル台を割り込んでいる。
- **米エネルギー情報局(EIA)**: 11月のエネルギー見通しで、14年の原油先物(WTI期近)価格を1バレル=95.00ドルに、15年の同価格を77.75ドルに下方修正した。

BRICs+豪：商品安で二極化する新興・資源国市場

('13.1=100)

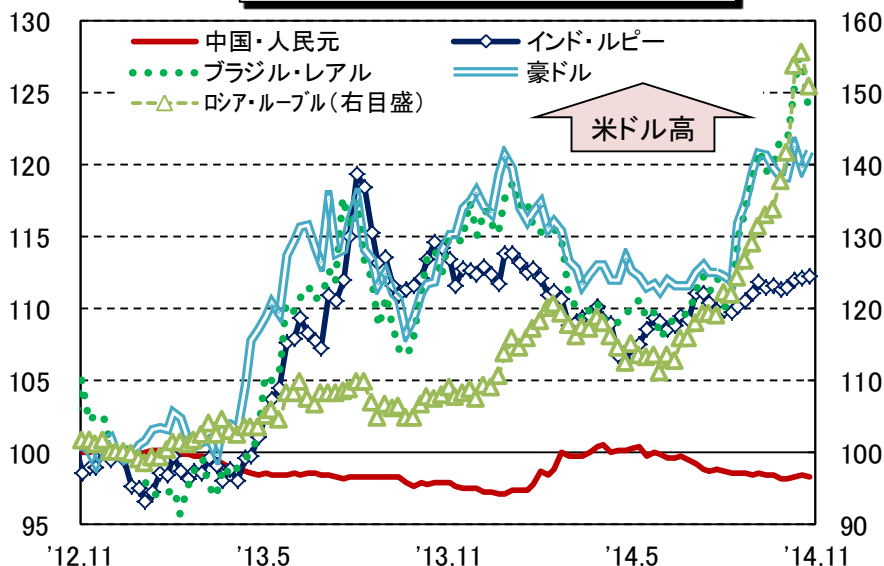
BRICs+豪 株価の推移



(資料) Bloombergより作成

('13.1=100)

BRICs+豪 対米ドル相場の推移



(資料) Bloombergより作成

- 中国**: 国家統計局発表の製造業PMI(10月)は50.8と9月から悪化。貿易統計(10月)では、輸出が前年比11.6%と9月から伸びが鈍化したほか、鉱工業生産指数(10月)も9月から小幅低下した。こうした中、さらなる景気減速を回避するため、中国人民銀行は21日、約2年半ぶりの利下げを決定したほか、レボ金利の引下げ(25日)、公開市場操作による資金供給(27日)などが好感され、約3年半ぶりの高値となった。なお、上海・香港間の相互株取引は11月17日に開始されたが、取引は低調で失望感が広がったため、株価は一時下落した。
- インド**: 卸売物価指数(WPI、10月)は、前年比1.8%と、9月(同2.4%)から一段の縮小。鉱工業生産指数(9月)は前年比2.5%と、8月から拡大、電力は0.4%ポイントの寄与度に対し、製造業は2.0%ポイントの寄与度であった。原油のほとんどを輸入に依存しているため、最近の原油安は調達コストを抑え、貿易赤字の縮小効果が期待されるとして、株買いの材料となっている。
- ロシア**: 消費者物価指数(10月)は前年比8.3%と、9月(同8.0%)から上昇幅拡大。10月の鉱工業生産は前年比2.9%と、8月(同2.8%)から上昇。中銀は11月に為替介入の上限を3.5億ドルに設定したが、ルーブル安には歯止めはかからず、10日に管理相場制から変動相場制へ移行したことで、足元のルーブル相場はようやく下げ止まった。27日のOPEC総会では減産が決定されず、ルーブルは過去最安値を更新、エネルギー関連の株を中心に売られた。
- ブラジル**: 10月のインフレ率(IPCA)は前年比6.6%と9月(同6.8%)から上昇幅を縮小させた。ブラジル中銀は、インフレ圧力のさらなる緩和とリアル安の防衛を理由に、市場の予想外である政策金利の25bp引き上げを決定した(10月29日)。なお、10月26日の大統領選では、現職のルセフ氏が再選を果たした。
- オーストラリア**: 失業率(10月)は6.2%と、9月(6.1%)から上昇、雇用者数は9月から2.41万人増、正規雇用者数は3.34万人増で、労働参加率の上昇もみられ、失業率が示すほど悪い内容でなかった。豪中銀議事要旨では、豪ドル水準が依然として高すぎることを指摘。原油や石炭、鉄鉱石価格が軒並み下落傾向であることで、豪ドル安となっている。

政府・日銀の景気判断：ともに据え置き

年 月		政府月例経済報告		日銀金融経済月報	
2013年	12月	➡	景気は、緩やかに回復しつつある。	➡	わが国の景気は、緩やかに回復している。
2014年	1月	↗	景気は、緩やかに回復している。	➡	わが国の景気は緩やかな回復を続けており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。
	2月	➡	景気は、緩やかに回復している。	➡	わが国の景気は緩やかな回復を続けており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。
	3月	➡	景気は、緩やかに回復している。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まっている。	➡	わが国の景気は緩やかな回復を続けており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。
	4月	↘	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げの影響による下振れを伴いつつも、基調的には緩やかな回復を続けている。
	5月	➡	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	6月	➡	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	7月	↗	景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	8月	➡	景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	9月	↘	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	10月	↘	景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響から生産面を中心に弱めの動きがみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。
	11月	➡	景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	➡	わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響から生産面を中心に弱めの動きがみられているが、基調的には緩やかな回復を続けている。

(資料)内閣府「月例経済報告」、日銀「金融経済月報」より農中総研作成 (注)矢印は景気判断の方向を示す

- ・ 政府:11月の景気判断を「弱さがみられる」に据え置いた
- ・ 日銀:11月の景気判断を「緩やかな回復を続けている」に据え置いた。

内外金融市場データ

	長期金利			短期金利					外国為替			国内株価指数		海外株価指数				海外金利			その他		
	新発 10年 国債 利回	債先 10年物 中心 限月	金利 スワップ レート 5年物 (円-円) 仲値	無担保 コール 翌日物	TIBOR ユーロ 円 3ヶ月	国庫 短期 証券 3ヶ月物	TIBOR ユーロ 円 6ヶ月	金利 先物 (利回) 中心 限月	ドル円 スポット レート 東京 17:00 現在	ユーロ ドル スポット レート	ユーロ円 スポット レート 東京 17:00 現在	日経 平均 株価 225	TOPIX	米国 NYダウ 工業株 30	米国 ナスダック 総合	ストク クス 欧州 600	中国 上海総合	米国 財務省 証券 10年物 国債 利回	米国 財務省 証券 3ヶ月物 国債 利回	独国 10年物 国債 利回	NY 金 先物 期近	NY 原油 先物 WTI 期近	OPEC 原油 バス ケット 価格
14/09/30	0.525	145.84	0.265	0.029	0.210	0.000	0.299	0.185	109.42	1.263	138.80	16,173.52	1,326.29	17,042.90	4,493.39	343.08	2,363.87	2.489	0.015	0.947	1,212.3	91.16	94.17
14/10/01	0.525	145.87	0.260	0.049	0.210	0.001	0.299	0.185	109.85	1.262	138.37	16,082.25	1,318.21	16,804.71	4,422.09	340.22	休場	2.386	0.010	0.901	1,216.1	90.73	92.19
14/10/02	0.520	145.91	0.255	0.056	0.210	0.002	0.299	0.180	108.83	1.267	137.40	15,661.99	1,280.15	16,801.05	4,430.20	332.05	休場	2.425	0.010	0.902	1,215.7	91.01	90.40
14/10/03	0.520	145.98	0.249	0.061	0.210	▲ 0.011	0.299	0.180	108.76	1.252	137.51	15,708.65	1,282.54	17,009.69	4,475.62	335.19	休場	2.434	0.005	0.925	1,193.5	89.74	90.33
14/10/06	0.515	145.97	0.251	0.060	0.210	▲ 0.015	0.299	0.185	109.43	1.266	137.20	15,890.95	1,296.40	16,991.91	4,454.80	336.00	休場	2.420	0.005	0.906	1,207.9	90.34	90.40
14/10/07	0.510	146.05	0.246	0.059	0.210	▲ 0.018	0.299	0.190	108.51	1.267	137.16	15,783.83	1,290.89	16,719.39	4,385.20	330.85	休場	2.339	0.005	0.906	1,213.0	88.85	89.37
14/10/08	0.500	146.14	0.243	0.059	0.210	▲ 0.019	0.299	0.190	108.13	1.273	136.82	15,595.98	1,274.85	16,994.22	4,468.59	328.00	2,382.79	2.321	0.000	0.907	1,206.6	87.31	88.32
14/10/09	0.485	146.26	0.239	0.059	0.210	▲ 0.020	0.299	0.185	107.64	1.269	137.62	15,478.93	1,260.78	16,659.25	4,378.34	326.67	2,389.37	2.313	0.005	0.906	1,225.9	85.77	88.27
14/10/10	0.500	146.13	0.246	0.060	0.210	▲ 0.009	0.299	0.180	108.09	1.263	136.92	15,300.55	1,243.09	16,544.10	4,276.24	321.62	2,374.54	2.280	0.005	0.887	1,222.3	85.82	86.43
14/10/13	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.275	休場	休場	休場	16,321.07	4,213.66	321.56	2,366.01	2.280	0.005	0.895	1,230.6	85.74	85.93
14/10/14	0.495	146.17	0.245	0.060	0.208	▲ 0.011	0.298	0.175	107.25	1.266	136.21	14,936.51	1,214.27	16,315.19	4,227.17	321.53	2,359.48	2.197	0.005	0.838	1,234.9	81.84	85.14
14/10/15	0.485	146.25	0.241	0.061	0.206	▲ 0.013	0.296	0.180	107.23	1.284	135.60	15,073.52	1,223.67	16,141.74	4,215.32	311.36	2,373.67	2.136	0.015	0.756	1,245.5	81.78	81.89
14/10/16	0.485	146.24	0.245	0.058	0.205	▲ 0.014	0.295	0.175	105.92	1.281	135.51	14,738.38	1,195.50	16,117.24	4,217.39	310.03	2,356.50	2.156	0.025	0.820	1,241.9	82.70	81.17
14/10/17	0.475	146.45	0.232	0.059	0.205	▲ 0.033	0.294	0.180	106.43	1.276	136.08	14,532.51	1,177.22	16,380.41	4,258.44	318.68	2,341.18	2.194	0.020	0.859	1,239.8	82.75	83.19
14/10/20	0.485	146.25	0.244	0.060	0.204	▲ 0.057	0.293	0.165	107.08	1.280	136.73	15,111.23	1,224.34	16,399.67	4,316.07	317.01	2,356.73	2.191	0.020	0.849	1,245.5	82.71	82.37
14/10/21	0.480	146.37	0.236	0.060	0.202	▲ 0.068	0.290	0.160	106.57	1.272	136.72	14,804.28	1,205.36	16,614.81	4,419.48	323.74	2,339.66	2.222	0.010	0.871	1,252.7	82.81	82.09
14/10/22	0.480	146.29	0.241	0.061	0.199	▲ 0.071	0.287	0.165	106.96	1.265	135.50	15,195.77	1,236.41	16,461.32	4,382.85	326.11	2,326.55	2.216	0.015	0.871	1,246.6	80.52	81.94
14/10/23	0.480	146.35	0.238	0.060	0.198	▲ 0.073	0.286	0.160	107.26	1.265	135.59	15,138.96	1,232.34	16,677.90	4,452.79	328.26	2,302.42	2.271	0.005	0.902	1,230.1	82.09	81.67
14/10/24	0.470	146.49	0.234	0.060	0.196	▲ 0.024	0.284	0.160	108.24	1.267	136.83	15,291.64	1,242.32	16,805.41	4,483.72	327.17	2,302.28	2.269	0.005	0.892	1,232.8	81.01	82.48
14/10/27	0.470	146.47	0.236	0.059	0.195	▲ 0.029	0.284	0.160	108.04	1.270	137.12	15,388.72	1,254.28	16,817.94	4,485.93	325.10	2,290.44	2.261	0.005	0.868	1,230.2	81.00	82.37
14/10/28	0.460	146.58	0.229	0.059	0.195	▲ 0.035	0.284	0.170	107.84	1.273	137.11	15,329.91	1,252.00	17,005.75	4,564.29	328.25	2,337.87	2.296	0.010	0.877	1,230.3	81.42	82.44
14/10/29	0.465	146.53	0.229	0.059	0.195	▲ 0.038	0.284	0.165	108.08	1.263	137.67	15,553.91	1,270.64	16,974.31	4,549.23	328.78	2,373.03	2.317	0.010	0.898	1,225.9	82.20	83.24
14/10/30	0.470	146.53	0.232	0.059	0.195	▲ 0.045	0.284	0.170	109.18	1.261	137.46	15,658.20	1,278.90	17,195.42	4,566.14	330.71	2,391.08	2.306	0.005	0.845	1,199.5	81.12	82.79
14/10/31	0.450	146.53	0.246	0.060	0.192	0.001	0.281	0.160	111.23	1.253	139.80	16,413.76	1,333.64	17,390.52	4,630.74	336.80	2,420.18	2.335	0.005	0.841	1,172.4	80.54	81.97
14/11/03	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.248	休場	休場	休場	17,366.24	4,638.91	334.25	2,430.03	2.343	0.005	0.853	1,170.6	78.78	80.64
14/11/04	0.440	146.70	0.239	0.061	0.188	0.002	0.276	0.160	113.58	1.255	142.04	16,862.47	1,368.65	17,383.84	4,623.64	330.88	2,430.68	2.334	0.020	0.807	1,168.5	77.19	78.67
14/11/05	0.465	146.44	0.269	0.061	0.185	0.004	0.273	0.160	114.42	1.249	143.22	16,937.32	1,371.76	17,484.53	4,620.72	336.36	2,419.25	2.342	0.020	0.827	1,146.5	78.68	78.11
14/11/06	0.470	146.47	0.266	0.061	0.184	0.007	0.272	0.165	114.46	1.238	143.14	16,792.48	1,356.35	17,554.47	4,638.47	337.08	2,425.86	2.386	0.020	0.828	1,143.3	77.91	78.27
14/11/07	0.480	146.39	0.266	0.062	0.184	0.001	0.272	0.165	115.28	1.246	142.77	16,880.38	1,363.67	17,573.93	4,632.53	335.25	2,418.17	2.298	0.020	0.817	1,170.6	78.65	78.67
14/11/10	0.455	146.55	0.255	0.068	0.184	▲ 0.001	0.272	0.165	114.02	1.242	142.23	16,780.53	1,360.11	17,613.74	4,651.62	337.71	2,473.67	2.360	0.020	0.834	1,160.7	77.40	78.98
14/11/11	0.490	146.25	0.280	0.068	0.184	▲ 0.003	0.272	0.170	115.80	1.248	143.68	17,124.11	1,375.21	17,614.90	4,660.56	338.93	2,469.67	2.360	0.015	0.826	1,164.0	77.94	77.27
14/11/12	0.520	145.85	0.309	0.065	0.184	▲ 0.004	0.272	0.175	115.27	1.244	144.04	17,197.05	1,377.05	17,612.20	4,675.14	335.09	2,494.48	2.371	0.010	0.810	1,159.9	77.18	76.96
14/11/13	0.495	146.08	0.290	0.063	0.184	▲ 0.003	0.272	0.175	115.79	1.248	144.19	17,392.79	1,389.51	17,652.79	4,680.14	335.86	2,485.61	2.340	0.005	0.799	1,162.3	74.21	75.15
14/11/14	0.480	146.23	0.279	0.066	0.183	▲ 0.054	0.271	0.170	116.30	1.253	144.81	17,490.83	1,400.41	17,634.74	4,688.54	335.63	2,478.82	2.320	0.005	0.785	1,186.3	75.82	73.47
14/11/17	0.480	146.27	0.275	0.064	0.183	▲ 0.057	0.271	0.170	115.95	1.245	145.30	16,973.80	1,366.13	17,647.75	4,671.00	337.25	2,474.01	2.340	0.005	0.802	1,184.3	75.64	73.90
14/11/18	0.505	146.05	0.285	0.065	0.183	▲ 0.064	0.271	0.165	116.70	1.254	145.76	17,344.06	1,394.88	17,687.82	4,702.44	339.30	2,456.37	2.315	0.010	0.797	1,197.8	74.61	74.36
14/11/19	0.475	146.30	0.265	0.065	0.183	▲ 0.076	0.271	0.165	117.37	1.255	147.15	17,288.75	1,396.54	17,685.73	4,675.71	339.15	2,450.99	2.359	0.000	0.848	1,194.6	74.58	74.05
14/11/20	0.465	146.36	0.261	0.066	0.183	▲ 0.084	0.271	0.165	118.58	1.254	148.65	17,300.86	1,397.64	17,719.00	4,701.87	338.28	2,452.66	2.337	0.000	0.799	1,191.5	75.58	74.03
14/11/21	0.455	146.45	0.260	0.069	0.182	▲ 0.023	0.270	0.170	117.57	1.239	147.49	17,357.51	1,400.18	17,810.06	4,712.97	345.24	2,486.79	2.310	0.005	0.770	1,198.4	76.51	75.42
14/11/24	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.244	休場	休場	休場	17,817.90	4,754.89	345.72	2,532.88	2.306	0.005	0.			

(資料) Bloombergより農中総研作成



農林中金総合研究所

無断転載を禁じます。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2014 Norinchukin Research Institute Co., Ltd

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12

(株)農林中金総合研究所 調査第二部

TEL03-3233-7752 tada@nochuri.co.jp